

登録番号 第 22549 号

ファーストオリゼ®プリンス®粒剤 10

- 「は種時」処理により水稻の主要病害虫であるいもち病、イネミズゾウムシ、ウンカ類、ニカメイチュウ、コブノメイガ等を同時に防除できます。
- 「は種時」処理で長期間にわたって高い効果を示すので、省力的、経済的です。

ファーストオリゼは三井化学クロップ&ライフソリューション㈱の登録商標、プリンスはBASF社の登録商標です。

| | | | |
|------|--|------|-----------------|
| 有効成分 | フィプロニル（化管法第1種）・・・1.0% プロベナゾール（化管法第1種）・・・20.0% | 包装 | 3kg×8 10kg×1 |
| 性状 | 淡褐色細粒 | 有効年限 | 3年 |
| 毒性 | 普通物* | 危険物 | - |

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害虫及び使用方法】

2023年4月1日付内容

| 作物名 | 適用病害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | フィプロニルを含む農薬の総使用回数 | プロベナゾールを含む農薬の総使用回数 |
|------------|---|--|--------------|---------|-----------------|-------------------|---------------------|
| 稲 (箱育苗) | いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 穂枯れ（ごま葉枯病菌） イネミズゾウムシ ウンカ類 ニカメイチュウ コブノメイガ イネトシ イネトシ イネトシ | 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50g | は種時 (覆土前) | 1回 | 育苗箱の床土に均一に散布する。 | 1回 | 2回以内(移植時までの処理は1回以内) |

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- (2) 本剤処理後の低温で生育抑制を生じる恐れがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめること。
- (3) 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- (4) 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいぬいに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意すること。
- (5) 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合は使用をさけること。
- (6) 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。
- (7) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法-----

- (1) 誤食などのないよう注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- (2) フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されている。
- (3) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (4) 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。
作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (5) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (6) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- (7) 夏期高温時の使用を避けること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないこと。
- (2) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖地等に流入しないよう水管理に注意すること。
- (3) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。